薄型の洗面台の製作について

今回の依頼は、ボウルの深さも浅く、薄さにこだわった洗面台の製作依頼です。一般的にボウル排水口の高さまで前垂れ、もしくはボックス等で目隠しすることになりますと１５０から２００mm ぐらいの FIX 部を設ける必要があります。したがってこの前垂れ部を少しでも浅くするためもボウルの選択が大事です。

今回の使用ボウルは　セラ　トレーディング様の DV031758　です。天板から最大深さ６０mm です。

また、天板は人工大理石で高さをコンパクトにするため、ポリ合板のボックスを人大加工工場に送り直貼加工してもらいました。

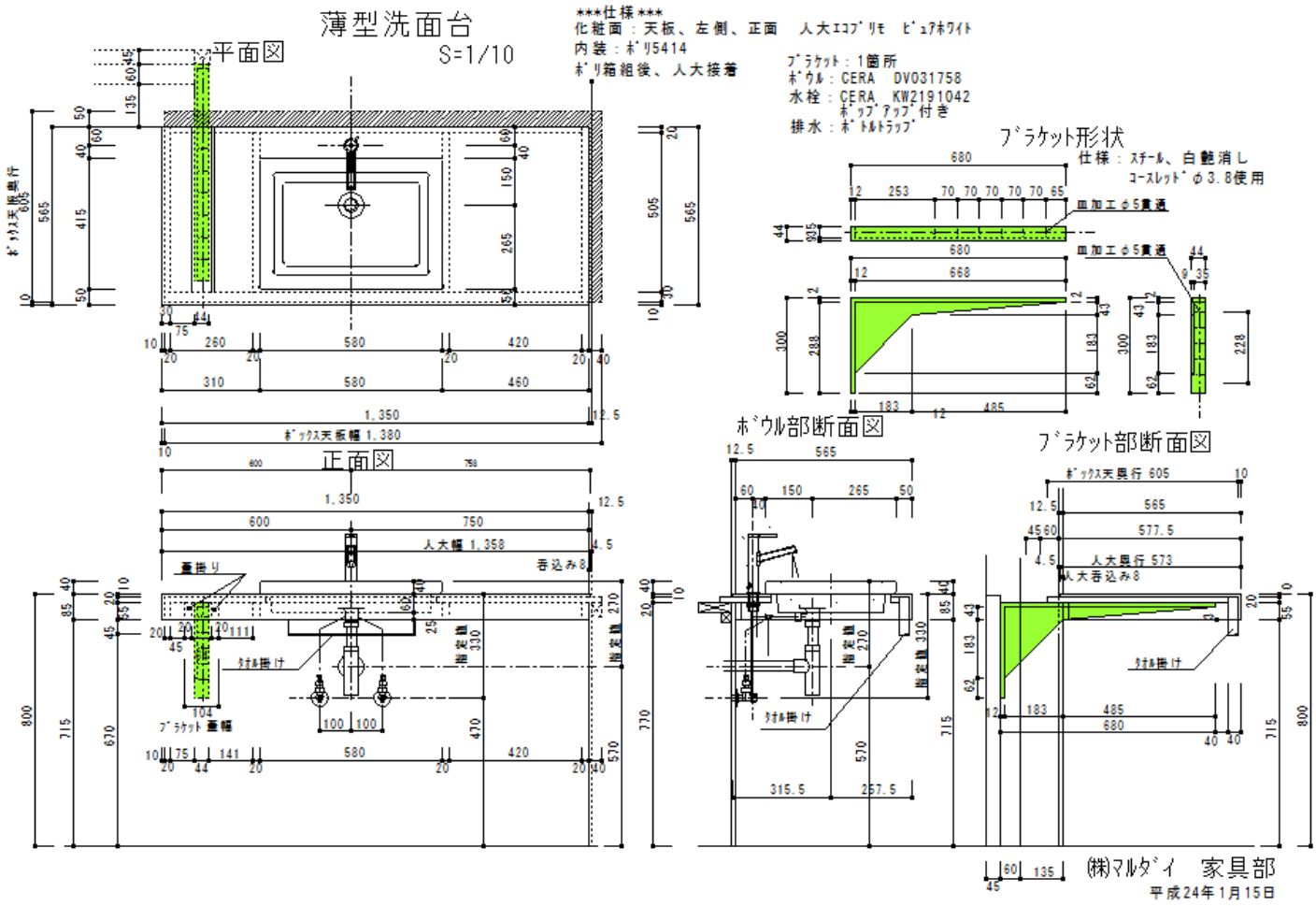
さらに、人大の箱を受けるブラケットの形状をギリギリの高さに押さえて揺れが無く確実に受ける構造としました。

以上より図面を確定しボックスの仕上がり H85 となりました。

仕様

化粧面：天板、左側、正面　人大ｴｺﾌﾞﾘﾓ　ﾋﾟｭｱﾎﾜｲﾄ
内装：ﾎﾟﾘ5414
ﾎﾟﾘ箱組後、人大接着

ﾌﾞﾗｹｯﾄ：1箇所
ﾎﾞｳﾙ：CERA　DV031758
水栓：CERA　KW2191042
ﾎﾟｯﾌﾟｱｯﾌﾟ付き
排水：ﾎﾞﾄﾙﾄﾗｯﾌﾟ

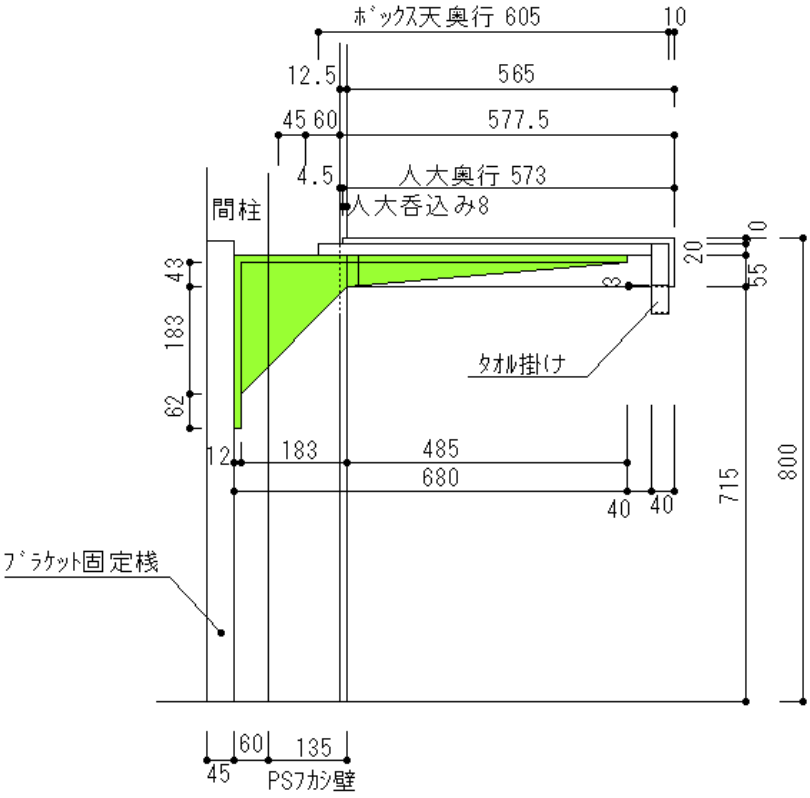


下地ボックスの状況です。
これに人工大理石を直貼りします。

下面のポリ合板仕上げです。

張り出し部は壁呑込みです。

ﾌﾞﾗｹｯﾄ部断面図



ブラケット固定状況です。
壁から 195mm 奥まで入り込んでいます。

スッキリした薄型のデザインを追求した形です。

㈱マルダイ　家具部　Da・Monde　鈴木

平成 24 年 4 月 21 日